

福島第二原子力発電所 プラント状況等のお知らせ

(日報：平成 24 年 9 月 24 日)

平成 24 年 9 月 24 日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

福島第二原子力発電所では、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う津波の影響により、1, 2, 4 号機において原子力災害対策特別措置法の規定に基づく該当事象が発生し、同年 3 月 12 日、内閣総理大臣による原子力緊急事態宣言が発出されました。

その後、電動機等の復旧や残留熱除去ポンプの機能回復等の緊急事態応急対策を実施し、同年 3 月 15 日までに全号機で冷温停止を達成しました。

以後、同対策を継続して実施し、電源供給機能や残留熱除去機能の多重化を図るなど、プラントの安定的な冷温停止の維持に努めた結果、同年 12 月 26 日、内閣総理大臣により当所の原子力緊急事態解除が宣言され、原子力災害対策特別措置法に基づく原子力災害事後対策の実施段階に移行しました。

同対策を実施するにあたり、原子力事業者防災業務計画に基づく復旧計画を策定し、経済産業大臣、福島県知事、楡葉町長、富岡町長に提出しました（平成 24 年 1 月 31 日提出、同年 5 月 31 日改訂）。

本計画に基づき、プラントの冷温停止維持に係わる設備等の復旧を進め、さらなる信頼性向上に努めてまいります。

本日午後 4 時現在のプラント状況等について、別表のとおりお知らせします（下線部が新規事項）。

以 上

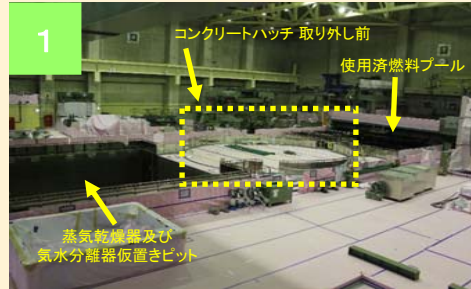
福島第二原子力発電所 プラント状況（平成24年9月24日 午後4時現在）

別表

		1号機	2号機	3号機	4号機	参 考
原子炉の冷却	原子炉の状態	冷温停止中 (全制御棒全挿入)	冷温停止中 (全制御棒全挿入)	冷温停止中 (全制御棒全挿入)	原子炉圧力容器 開放作業中	●冷温停止とは、原子炉水の温度が100℃未満で原子炉が未臨界の状態をいう。 ●左記の水温は午前6時現在の温度。
	原子炉水の温度	26.7℃	26.6℃	27.1℃	26.2℃	
	残留熱除去系（A）	不待機	運転中	運転中	運転中	●残留熱除去系1系列と原子炉冷却材浄化系にて原子炉の冷却を行っている。 ●原子炉冷却材浄化系は、原子炉水を浄化する装置だが、原子炉の冷却機能も有する。残留熱除去系2系統が停止したとしても、本系統により、原子炉の冷温停止状態を安定的に維持することが可能。
	残留熱除去系（B）	運転中	待機中	待機中	不待機	
	原子炉冷却材浄化系	運転中	運転中	運転中	運転中	
使用済燃料 プールの冷却	燃料プール冷却浄化系	運転中	運転中	運転中	点検停止中	●使用済燃料プールの水温を65℃以下に保つよう、燃料プール冷却浄化系で冷却している。 ●左記の水温は午前6時現在の温度。
	使用済燃料プール水の温度	29.0℃	28.3℃	28.6℃	25.6℃	
外部電源		受電有	受電有	受電有	受電有	●当所の外部電源は、富岡線1号・2号（500kV系）、岩井戸線1号・2号（66kV系）の4回線がある。
非常用電源	非常用ディーゼル発電機（A）	復旧作業中	待機中	待機中	待機中	●外部電源喪失時のバックアップとして、非常用ディーゼル発電機2台が動作可能な状態を確保している。なお、非常用ディーゼル発電機は、複数の号機で共用することが可能である。 （1号機は、2～4号機の待機中の非常用ディーゼル発電機から受電可能）。 ●発電所構内には、全交流電源喪失時に原子炉や使用済燃料プールに注水するための電力を供給する電源車を配備している。
	非常用ディーゼル発電機（B）	待機中	待機中	待機中	点検作業中	
	高圧炉心スプレイ系 非常用ディーゼル発電機	復旧作業中	点検作業中	待機中	点検作業中	
モニタリングポスト (空間線量率の測定)		・発電所構内に7基（No.1～7）設置しているモニタリングポスト（環境中の放射線量を測定）はすべて稼動しており、測定値に有意な変動はありません。 ※当社ホームページでモニタリングポストの測定値（空間線量率）を公開しています。 http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f2/index-j.html				
特記事項		・4号機燃料プール冷却浄化系は、弁の点検に伴い、9/24 10:02～16:30（予定）、9/25 10:00（予定）～16:00（予定）の間、停止。 ・1号機残留熱除去系（A）の電源設備取替作業、分解点検等に伴い、残留熱除去系（A）を9/20 10:00～H25/1/18（予定）まで不待機。 ・4号機残留熱除去系（B）の冷却系統である残留熱除去機器冷却海水系ポンプ（B）、（D）と、非常用ディーゼル発電機（B）の機関および補機設備等は、9/7～12/13（予定）にかけて点検を実施。これに伴い、4号機残留熱除去系（B）および非常用ディーゼル発電機（B）を9/7 9:53～12/13（予定）まで不待機。 ・4号機高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機の機関および補機設備は、9/3～10/19（予定）にかけて点検手入を実施。これに伴い、4号機高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機を、9/3 10:06～10/19 16:00（予定）まで不待機。				

当所4号機では、9月10日より原子炉開放作業を開始し、同月21日までに、コンクリートハッチ、原子炉格納容器の蓋、原子炉压力容器の蓋、蒸気乾燥器、気水分離器の取り外しを行い、原子炉開放作業が完了いたしました。

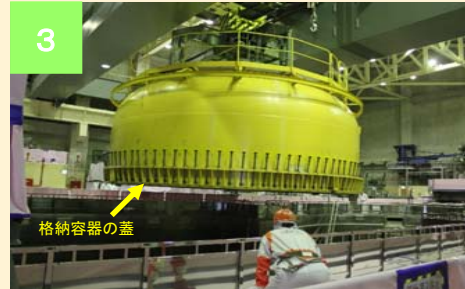
●原子炉開放作業の流れ（作業実績）



原子炉開放作業前の様子
(平成24年9月10日撮影)



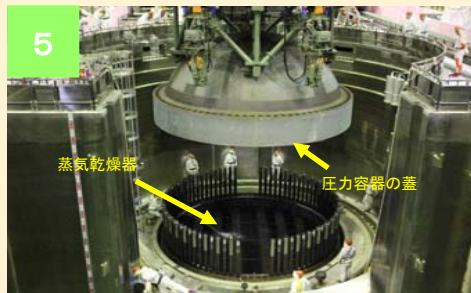
コンクリートハッチの取り外しの様子
(平成24年9月10日撮影)



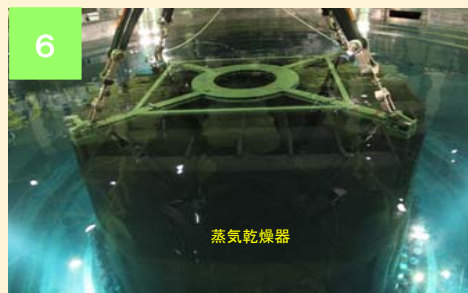
原子炉格納容器 蓋の取り外しの様子
(平成24年9月11日撮影)



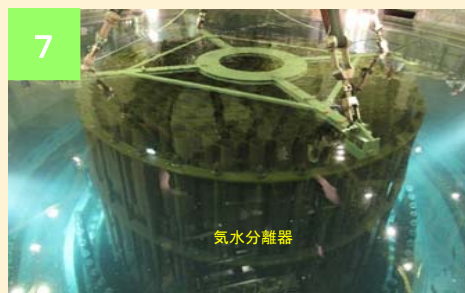
原子炉压力容器 スタッドボルトの緩め作業の様子
(平成24年9月13日撮影)



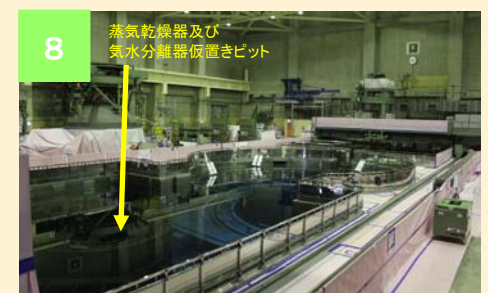
原子炉压力容器 蓋の取り外しの様子
(平成24年9月14日撮影)



蒸気乾燥器の取り外しの様子
(平成24年9月19日撮影)



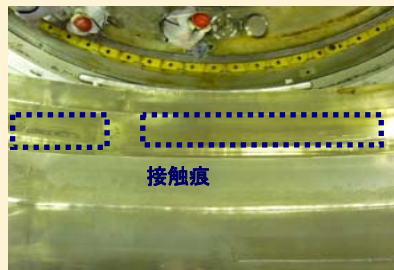
気水分離器の取り外しの様子
(平成24年9月21日撮影)



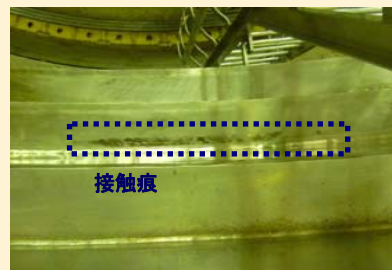
原子炉開放作業後の様子
(平成24年9月22日撮影)

●確認された主な不具合箇所

- コンクリートハッチが載っていた箇所(2段目のひな段)の表面(ほぼ全周)に接触痕(擦り傷)が確認されました。
(平成24年9月13日ホームページ掲載[9月12日不適当管理委員会審議分])
- 確認された擦り傷はごく浅く、健全性に影響を与えるものではありません。
- 東北地方太平洋沖地震の揺れによる影響と推定しております。

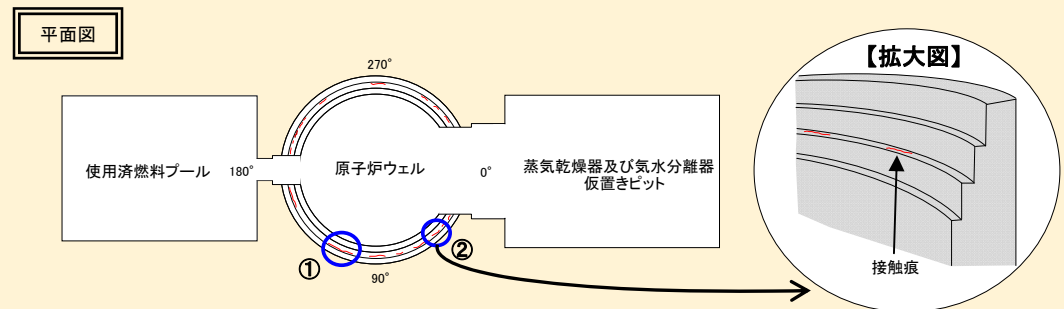


接触痕の様子①
(平成24年9月11日撮影)



接触痕の様子②
(平成24年9月11日撮影)

【原子炉ウェル*概略図】



*原子炉ウェル
原子炉压力容器および原子炉格納容器の蓋を設置している空間で、燃料移動を行う際には、この空間を満水状態にする。